

かねざわ 第89号

2024年（令和6年）8月

- (P-2) 探訪のお知らせ「浦賀レンガドックと浦賀散策」
- (P-3) 2024年度新入会員との懇談会模様
- (P-16) ジョン万次郎は英語で「おおスザンナ」を歌った（伊達一雄）

目次

運営委員会からのお知らせ

- 2 探訪のお知らせ「浦賀レンガドックと浦賀散策」
- 3 新入会員との懇談会模様

学習会

- 6 第1回学習会
- 11 第2回学習会

会員からの寄稿

- 16 ジョン万次郎は英語で「おおスザンナ」を歌った
伊達一雄

分科会からの便り（活動記録）

- 18 「寺社をめぐる会」
- 23 「古文書を読む会」
- 24 「ふれあいの道歩こう会」
- 27 「懐かしの映画を観る会」
- 33 「浮雲俳句会」
- 37 「パソコンを使いこなす会」

行事予定

- 40 2024年9月～11月の予定

【お願い】 会員の皆さまの寄稿をお待ちしています



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ：<http://Kanazawa-wanokai.in.coccan.jp/>

メール：asahina5rou@gmail.com

2024年度探訪（第6回学習会）のお知らせ 『浦賀レンガドックと浦賀散策』

世界でも大規模にレンガ造りのドライドックは4か所（5基）しか存在しません。その一つの貴重な浦賀レンガドックの見学と浦賀郷土資料館他の西浦賀を散策します。下記要領で探訪を実施しますので、多数のご参加をお待ちします。

『実施要領』

1. 探訪地 : 横須賀地区（NPO 法人 よこすかシティガイド協会の案内）
2. 日時 : 10月11日（金）9時30分～14時00分 小雨決行
 註1：受付順で10名～12名程度ごとに班編成します。班編成後、順次出発となります。
 註2：荒天等で探訪自体を中止する場合は当日朝6時45分までに、電話連絡するとともに“わ”の会ホームページに掲載します。
3. 集合時間 : 午前9時30分 受付開始9時
4. 集合場所 : 京急線 浦賀駅
5. 持ち物 : 名札（着用）、昼食（各自持参）、敷物、飲料、雨具など
6. 費用 : 無料
7. 探訪経路 : 浦賀駅（9:30）～浦賀の歴史人物絵～屯営跡の碑～浦賀レンガドック（10:00～11:00 発）～明治期のフランス積煉瓦塀～浦賀郷土資料館【見学・昼食】（11:30～12:15）～西岸叶神社～渡船乗場～船番所跡（陸軍棧橋）（14:00 解散）～バス～京急浦賀駅又は京急久里浜駅（歩行距離 約3km）
8. 申込み期限 : 9月26日（木）
9. 緊急連絡先 : 松崎 寛 探訪実行委員長 090-2432-1462
 浜辺 隆文 探訪実行副委員長 090-8501-5634

2024年度入会会員との懇談会

日 時：2024年7月20日（金） 10:00～12:10 場 所：ゆめかもん会議室A・B

出席者：新入会員：大黒、小林、三瓶、岡、早川、吉武

（敬称略） 分科会：寺社/横山、古文書/松本、俳句/小俣、パソコン/高橋、ふれあい/江口、映画/鶴岡

運営委員：（鶴岡）、松崎、星野、福嶋、浜辺、（江口）、斧原（全17名）

配布資料：2024年度入会会員との懇談会次第、“わ”の会 活動理念、2024年度総会資料

概 要

新入会員懇談会は、新入会員に“わ”の会の理念と活動を知ってもらい、早くこの会へ溶け込めるよう毎年開催している。今年は、新入会員9名のうち、6名が参加して実施された。

1. 懇談会開催挨拶（鶴岡代表）

かつて新入会員の定着率が低くその改善のために懇談会を始めた。活動理念として「金沢の歴史」を学ぶことを掲げているが、最終目的は「豊かな生きがい作り」。この会の特徴は、学習会と分科会が、車の両輪のように活動していること。分科会に入ることによって“わ”の会の楽しさが分かる。

この会はボランティア団体で、会員全体で支えている。皆さんも会の運営に参加して欲しい。

2. 自己紹介

運営委員、分科会代表、新入会員の順で自己紹介。

以下は、分科会代表、新入会員の発言概要。

分科会代表

- ・鶴岡さん：入会が2015年。“わ”の会は地区センターのチラシで知った。分科会は、映画、パソコン、寺社、ふれあい、に参加し、いろいろな人との関係ができた。
- ・江口さん：入会して13年。ふれあいに入り同時に運営委員に。会運営・会報・HP・事典等すべて経験してきた。運営委員は、講師の先生方とも親しく話ができる。“わ”の会は学ぶだけでなく仲間を作り、よい輪（“わ”）をつくること。

・横山さん：2008年に入会、15年以上会員である。私の興味は縄文時代。外部の写真の会（会員数500名）でも役員をされており忙しい毎日。会社人の時は近所付き合いは挨拶だけ。今は街を歩いていると向こうから声を掛けられるまでになった。こういう活動は、生活の中の潤滑油になる。

・松本さん：“わ”の会創立の2～3年後に入会したが、2年後にクビになった。区役所の指導で「区民が平等に会員になれるように」とのことで、毎年抽選で会員を決めたため。1年間ブランクの後、翌年再入会。以降は既存会員優先に変わり、これまで続いている。学習会だけでは友達はできない。その頃分科会ができ初め、寺社に入り活動後「反省会」という名の飲み会をやることで仲間との繋がりが深くなった。「反省会」の名付け親は私。他に、古文書、映画、万葉集の会に所属。

・小俣さん：創立3年目に応募したら落ちた。その頃定年退職者が増え、生涯学習の会が人気だった。会員数75名という制限があったためだが、運営委員に知り合いがいて「委員になるなら入れてやる」ということで裏口入学をした。

・高橋さん：2014年入会。写経をやっていた能見台地区センターで募集チラシを見た。名前だけ書いてきたら、あとで「入会が決まった」との連絡。パソコンの会に入った。左足を傷めた後、運動を勧められ太極拳をやり歩くことを心掛けている。

新入会員

・大黒（おおくろ）さん：俳句、古文書の会に所属。

以前から他でやっていたが金沢区でやりたいと思
い紹介されて句会を覗いてみた。みなさん熱心。見
学参加した“わ”の会の総会は運営が合理的でし
っかりしておりすぐに入会を決めた。古文書の会に
も入会。印象は、現代版の寺子屋。

- 小林さん：私は、寺社、映画に入っていた。生涯現
役の会が閉会になったので“わ”の会に入会した。
- 三瓶さん：反省会が大好き。昨年親の介護のため、
こちらへ引っ越してきた。歴史は好きだが金沢の
ことはよく知らないので入会した。石ころ（石器、
石塔など）が好き。
- 岡さん：父が“わ”の会の歴史事典を持っており、
私も歴史に興味がある。“わ”の会との出会いは、
歴遊会の山本さんに紹介されたこと。古文書を読
む会に軸足をおきたい。
- 早川さん：20年以上「生涯現役かなざわ会」に参
加しカラオケ、男の料理、飲み会など色々やった。
山登り、ダンス、テニスなどリタイア後の方が忙し
い。かなざわ会が解散し、飲み仲間と“わ”の会へ
入った。前の会は娯楽中心だったが“わ”の会は硬
い印象。空いていた月曜の映画の会に入り3回参
加した。あと何をやるか思案中。
- 吉武さん：能見台地区センターの近くに40年近
く住んでいる。勧誘ピラを見て入会。古文書と映画
の会に入っている。金沢は海岸線があり漁業があ
るのが他の地区と違う。分科会で皆さんと交流で
きることを楽しみにしている。

3. 分科会紹介

①パソコンを使いこなす会（高橋代表）

スマホとパソコンの両者の活用を追求。講師4
名。会員は現在18名。女性5名。ぜひ入会して
ください。詳細は総会資料をみてください。

②浮雲俳句会（小俣代表）

会は18年目になる。主宰の北野さんが3年半
前に亡くなり、その後太田耕蔵さんが引き継ぎ、今
の形に作り変えた。多作多捨、伝統俳句、5・7・
5の有季定型を継承した。詩を見つける。散文で
なく説明的にならないように。会員は13名、女性

5名。会費1000円。入るのは今がいい。

③懐かしの映画を見る会（鶴岡代表）

今年で20周年。月2回開催。詳細内容やライン
アップは総会資料のとおり。会員76名、ここにい
る17名のうち10名が会員。早川さん入会して
の感想はどうですか？

- 早川さん：ラインアップは非常に硬い内容。
名画だが娯楽系のもは少ない。運営がしっか
りしている。上映後の映画評論がすごい。時代背
景や心理描写など内容充実で毎回楽しみ。

④ふれあいの道歩こう会（江口代表）

関東ふれあいの道を歩くことを目的に発足した。
今は独自コースも多い。会員の年齢が上がってき
ているので、できるだけ低い山を選んでいる。県外
コースのとき朝早いのがきついという声もあるが、
移動に時間がかかり、安全のためには午後3時に
は下山したいのでやむを得ない。仲間と「健康だか
ら歩けるのだ」という話をよくする。“わ”の会で
もリタイア後の入会だと70歳以上になり、皆さ
ん膝が痛い、腰が痛いなどの話もよく聞くが、健康
を保つには歩くのが一番。

⑤古文書を読む会（松本副代表）

真田さん中心の会です。真田さんは歴史が好き
で、リタイア後に大学に入り、先生から「歴史をや
るなら古文書を読めなければだめ」と言われ本格
的に学んだ。以前は地元の古文書も読んだが、借金
の証文や商売の文書が多くあまり面白くない。今
は、全国規模で面白そうなものを選んでやっている。
坂本龍馬の手紙、江戸時代の日記や、ジョン万
次郎の漂流記など。昨年20周年で冊子をまとめ
た。真田さんは歴史に詳しく古文書の背景などを
話してくれるので毎回興味深い。

⑥寺社を巡る会（横山代表）

2002年に発足し、一昨年20周年記念行事を
やった。お寺・神社を訪問して由緒を聞く。歩きが
伴うので、高齢会員にとって手ごろな会かと。金沢
区・鎌倉・横須賀が主体。年1回のバス探訪は、
総会で会員投票にて行き先を決めている。今年は

お上りさんのようだが、「東京下町寺社巡り」にした。夏冬は暑さ寒さを避けて座学に。以前は独自に計画を立てたが、今はガイド協会にお願いしている。おかげで個人では入れない場所へも行ける。会員49名。毎回30人くらい参加。探訪後は食事会・反省会をやっている。

4. 意見交換

- 早川さん：かなざわ会は“わ”の会と比べると、個人商店と企業、個人の任意団体と区役所指導団体の違いがあるようで、こちらはとても硬い。かなざわ会は、会計報告も3分で終わりという感じ。お楽しみの中で、楽しいけれど勉強にはならない。“わ”の会は運営手法もしっかりしており、PCに堪能な人が多いようで、ホームページも充実している。総会はあまりの立派さにびっくりした。これからこれを繋いでいくのが大変だと感じた。
- 大黒さん：総会で、あれだけの準備をして、運営もしっかりしていて、すごいことだと思った。
- 小俣さん：昔話を少し。私が代表を務めていたころ

「会場の収容人数に対して会員数が多すぎる、違反ではないか」と消防に訴えた人がいた。当時、入会希望者が多すぎて、制限していたので「入会希望者を落とす会」と陰口を言われていた。消防から呼ばれたので「出席率が80%程度であり、会場の人数制限を超えることはないから問題なし」と説明し、収めたことがある。

- 鶴岡さん：運営委員は7割くらいが技術系。硬さはそのせいかもしれない。地方の人が東京に就職して、技術的な仕事に就くことが多かったのだろう。金沢区の大規模分譲地を買い自宅を構えたが、現役時代は、目は東京を向いている。リタイアしてから、地元金沢のことを知りたいと思うようになったのではないか。

5. 懇親会

懇談会の後、カバースキッチンへ移動し懇親会を開いた。16名(新人5,分科会6,運営委員5)が参加。途中席替えして多くの人と話がはずみ、大変賑やかな懇親会となった。



2024 年度 第 1 回学習会

【横浜検疫所・一号停留所（検疫資料館）の保存までの経緯と、海の公園への移築に伴う利活用について】

編集委員 星野 六夫

開催日： 2024 年 5 月 11 日（土）

11：00～12：30

会場： 能見台地区センター

講師： NPO 法人 野口英世よこはま顕彰会
理事長 田中 常義 氏

【はじめに】

「旧長濱検疫所一号停留所」の保存を要望する署名活動には、当会からも多くの方が賛同されたと思う。結果として現地での保存はかなわなかったものの、次善の策ということで「海の公園」へ移築する形となった。

すでに移築工事が始まっているが、行政に働きかける運動を先導されてきた田中理事長に、保存に至るまでの経緯と今後についてお話頂いた。これからどのように利活用していくか大きな課題である。

【横浜検疫所の歴史】

歴史に関する高校までの勉強で、明治に入ってからが尻切れになっているという話があるが、長濱検疫所が建設された頃の日本が置かれていた国際的状況について思いを馳せてみたい。

明治政府は不平等条約を解消することに躍起になっており、そのため外国船も平等に検疫する施設が必要だった。文明開化政策の成果を示すため、近代的な検疫措置施設でなければならなかった。検査設備、医療施設はもとより、感染者を留め置く施設、ホテル

【保存までの経緯】

分散していた横浜検疫所が新設の MM 合同庁舎に 2022 年集約されるのに伴い、旧長濱検疫所一号停留所（検疫資料館）とその収蔵資料の存続が危ぶまれることになり、2020 年 10 月保存運動を開始した。

2015～16 年に検疫所長から委託され「一号停



としてのサービスも一流として、文明国家としての評判を上げて行こうと張り切っただろう。

1895 年建設、検疫開始直後にペストの上陸を阻止する大きな成果を上げ、日本の検疫に関する法制度・施設・人員などの体制が世界レベルに到達・機能していることを世界に証明して見せた。

国内で唯一残るその検疫所施設は貴重な歴史遺産である。

留所の展示資料の悉皆調査」を実施したが、「検疫資料館各室・談話室・食堂室」書籍・文書、色紙、食器類など 831 件、「倉庫」検疫所来訪者の記帳・各文書など 134 件、「事務室」署名帳、色紙、短冊、掛け軸、など 128 件、計 1,093 件に上る「資料目録」を作成して提出した。

建物は2018年登録有形文化財（建造物）に登録された。

2023年4月、存続を求める署名6,601通を厚労省大臣、横浜市長あて提出した。

建物だけの保存ではなく、中身（コンテンツ）も一体として残してくれと要望した。入港船舶の検疫実務記録「検疫船簿」、医療・消毒器具等だけでなく、ホテル機能（食堂&談話室）にかかわる資料も

貴重で、食器・寝巻の類や、当時のレコード盤が何百枚も残っている。

2023年5月横浜市長から回答があり、現地保存の要望に対し、現地を更地化し売却するのはやむを得ないが、停留所は国の公園内に再構築し、市の施設として利活用することで国と市が覚書を締結した、という要旨であった。

【今後の利活用について】

移築先候補地の比較検討について説明があったが、結果は能見台地区から土を運んで埋め立てた我々の思い入れが深い「海の公園」への移築。海を眺望できる景観、長浜地区から続く緑のネットワーク内で一体管理が出来る。既存の駐車場にも恵まれている。

今後の利活用には公民連携での動きが必要ということで、環境創造局が主導しサウンディング型市場調査実施の呼びかけがなされた。どんな対話がなされたのだろう。

登録有形文化財としての利活用は制約も多い。建物は厳密な保存が要求される部分と、一部改造が入

る保全部分とにゾーニングされる。「カフェ等の飲食店（収益部分）」、「施設の魅力増進スペース」、「共用部分」を設けて、市民が文化財に触れ、展示解説等で学びながら寛げる場所にしていきたい。魅力増進スペースには図書を配架して、親子連れが自由に読書や休憩ができる場所にしたい等の、市の活用イメージが述べられている。

ただ、飲食施設に重要なインフラ施設の制約もあり、火気の使用は不可（ガスの引込みもなし）。使用料も条例に基づき徴収するという。運営資金をどうひねり出すか。山下公園のレストハウスなどより厳しい条件だと思うが、いい提案を期待したい。

【おわりに】

野口英世に対して私は特別の思いがある。何も千円札のせいではない。

野口の生誕地会津は私の故郷から近く、小学五年時初めての泊りがけ修学旅行で訪れた。幼少期から偉人伝を聞いていた野口の生家を訪ねるのは楽しみだった。世界的大スターに対して、私には他の人より更に親近感を持つ理由があった。まだハイハイしていた頃、私は囲炉裏に飛び込み頭部に大火傷を負ったらしい。必死の母の頑張りで何とか髪が生えるまでには回復したが、後頭部に小さな禿が記念として残っている。

野口が頭脳明晰だったのは大火傷によるショックで脳が活性化したからではないかと勝手に夢想し、ならば同じ雪国の貧農の生まれで、かつ幼少期に大火傷を負った私にも、偉くなる可能性があるのではないかという妄想を描いたのだ。結果は今更言うまでもないが、とにかく憧れを抱かせてくれた恩人である。

能見台に引越してから、野口が短期間ながらも在籍して大きな業績を上げ、世界に飛躍する起点となった長浜検疫所が近在すると知った時、私はまた縁を感じて喜んだ。

人には夫々思い出があり大切にしたい。ただ、個人の記憶は何もしなければ一代で途切れる。忘れてはいけない事物の資料をきちんと残すことは重要である。

最近のコロナ禍では検疫の重要性が再認識された。常在するパンデミックのリスクに対し、今回得られた経験を幅広く整理し、歴史資料として加え残す場として活用するのもタイムリーではないか。

新設されたカフェで、昔のレコードから流れる音楽を早く聴きたいものだ。

この金沢の地に検疫資料館を残すことに尽力して頂いた田中理事長はじめ関係者の方々に感謝したい。

“わ”の会運営委員会(2024.5.11 晴)

横浜検疫所・一号停留所（検疫資料館）の保存までの経緯と海の公園への移築に伴う利活用について

講師：田中 常義氏

出席者		一般会員	委員	計 (出席率%)	ビジター	合計	アンケート (提出率%)
	男	49	6	55 (63.2%)	0	55	
	女	13	1	14 (58.3)	1	15	
計		62	7	69 (62.2)	1	70	31/63

①講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
14 名	14 名	1 名	1 名	1 名

- ・細かいこと、知らなかったことを知ることができありがとうございました。
資料館として大変ご苦労したのですね。残してくれてありがとう。今後私たちがしっかりと引き継いでいきたいと思いました。
- ・私も神奈川新聞に今回の話の内容が掲載された時はビックリしました。今日話を聴けて心配していたことが少しずつ働き始めたこととそれまでのご苦労を知りました。何かできることがあればお手伝いさせてほしいと思います。
- ・テーマそのものが地味。但し、個々の好き嫌いもあるので、会場内での人々の反応を見ると、意外と頷いている人が多かった。
- ・改めて、横浜検疫所・一号停留所の保存の位置づけを理解できた。
- ・資料館であるから建物だけでなく展示資料も含めて保存してほしいのだから目から鱗の想いがした。
- ・金沢の歴史遺産が講師等のご努力により焼失することなく、近くの海の公園に新たな価値と付け加えて後世に残すことができたことは区民として大歓迎です。ご努力に感謝します。講師の年齢にびっくりです。
- ・横浜検疫所の現在までに至る経緯が良くわかりました。
- ・検疫資料館が保存運動が目録作り等、大変な活動をされてきたことに感銘を受けました。
今後、有効な利活用など様々な課題も山積みと思います。市との交渉などのご努力も初めて知りました。我々も考えていかなければならない問題だと思いました。
- ・旧長浜検疫所一号停留所の保存へのボランティア活動有志の方々の運動に敬服です。
現地保存の実現は叶いませんでしたが、海の公園内への再構築ということで今後に期待大です。
- ・金沢区にエールをもらった。(配布資料と映像資料のミスマッチが残念)
- ・歴史的価値のあるものに対する国の対応は疑問を感じるが横浜市の対応はベスト。田中氏の努力は素晴らしい。
- ・横浜検疫所・一号停留所の保存の経緯が理解できた。スクリーンに投影された文字が小さすぎた。野々山
- ・ご自身の経験を踏まえたお話を聴くことができた。
- ・建物だけでなく資料の話が聞けたので良かった

- ・横浜検疫所・一号停留所の保存や海の公園の施工などのご苦勞がわかった。
- ・ほとんど聞こえなくて残念
- ・もう少し長く詳しく説明を伺いたかった。
- ・わかりやすかった。
- ・P/P を使っての説明がわかりやすかったです。(興味深い内容でした)
- ・現地に詳しい方の話で興味深い話を伺うことができた。
- ・保存に関する苦勞が理解できた(検疫所の保存は国の宝です)
- ・経過がわかり良かった。
- ・貴重な話でした。
- ・講演と資料との関係が不明確で分かりづらかった。
サウンディングについては知らなかったので参考になった。

②今後講演していただきたいテーマ

- ・金沢地区埋立工事の実情
- ・講師にお願い 当プロジェクトの公報を期待します。
- ・今後の展開など
- ・金沢地先の埋立の歴史の経緯及び功罪について(自然の消滅のデメリットとの比較)
- ・ご高齢にもかかわらず、精力的な講演でお疲れさまでした。
一号停留所の保存後の状況について定期的に報告いただければ幸いです(関係者でOK)
- ・金沢沖埋立史
- ・引続きのことが講演された後でも聞きたい。

③学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
11名	15名	2名	0名

- ・区民としてしっかり考えていきたいと思いました 記入なし 3
- ・皆様、これからもよろしく願いいたします。
- ・少人数での運営ご苦勞様です。
- ・講演内容もよかったです、資料(スクリーンを含め)細かく示されて理解しやすかった
- ・新役員の方々、ご苦勞様ですが、“わ”の会が今後とも第三の人生を豊かなものにすることに貢献できることを期待しています。
- ・役員の方々ご苦勞様です。
- ・運営委員7名にもかかわらずよく頑張った。お疲れさまでした。
- ・ありがとうございます。
- ・新体制のもと、頑張ってください。期待しています。
- ・身近な近世史、現代史にアプローチしていること。
- ・講演時の音量調整をお願いします。
- ・時間管理が良い。
- ・式次第の説明や総会議事の説明がわかりやすかったです。
- ・説明がわかりやすい。

④”わ”の会について、何でもお書きください。

- ・いつもありがとうございます。
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。
- ・私的には大変味のある会であると、私自身は楽しませていただいています。
但し、将来的な問題として、歴史にこだわると、若い人、女性には難しくなる可能性もありや。人口比、男女の生き方の変化を見ても女性を増やす方法を考えるべきか。
- ・準備、運営ご苦労様です。外から見ると大変なことをやっていると感じながらよくわかりました。
- ・すごい熱気で良かった。「かねざわ」に興味を持った。

運営委員代表の意見・感想

今回は、当初予定していた講師が体調不良になり、理事長の田中常義氏に講演をしていただいた。金沢区民にとっては馴染みのある一号停留所の消滅の危機をボランティア団体が中心になって保存に成功したという、プロジェクト X ばりの話でした。当会も、署名活動などで若干のお手伝いできたことは良かったと思います。しかし、この問題はこれで終わったというよりもこれからが大事なのだと教えられました。高齢にもかかわらず、精力的な講演をしていただいた田中理事長に感謝です。

わ”の会代表 鶴岡重典

2024年度 第2回学習会

【名勝金沢八景の要 「洲崎」の歴史】

編集委員 熊谷信雄

開催日：2024年6月8日（土） 9：30～12：30

会場：金沢地区センター

れくゆうかい

講師：歴遊会かねさわ 代表 山本宏文氏



【はじめに】

山本先生は、“わ”の会に初めての登場です。江戸時代から続く山本家の長男として洲崎町のお生まれで、大学卒業後小中高校で教鞭を執られた後に、約30年前頃から郷土史の研究を始められた。今回は洲崎の成り立ちや歴史を紹介され、「鉄を制する者が天下を統一する」という持論を展開され、源頼朝が鎌倉幕府設立に洲崎が関わっていたと強調された。

【洲崎（すさき）関連】

①お宝

- 天平仏（菩薩半跏像：龍華寺所蔵）
- 地藏菩薩坐像（1524年造立：地藏堂所蔵）
- 第六天厨子（洲崎神社、龍華寺）
- 岩淵栄一氏による「泥亀新田研究」

②瀬戸橋（1305年完成）

- 瀬戸橋より北側の入り江（「内川の入り江」）と南側の海「瀬戸の内海」が金沢八景の景観を創り出した。江戸期には「乙艦帰帆」「小泉夜雨」「洲崎晴嵐」「称名晚鐘」「平潟落雁」「内川暮雪」「瀬戸秋月」「野島夕照」の金沢八景の原点である。
- 六浦から称名寺まで防衛上の拠点として道路沿いに人員を配備できた。
- 明治大正期に内海は「洲崎」の塩場となり、塩づくりの産業となる。
- 北側には龍華寺があり、かねさわの良い水脈があり、六浦と称名寺・龍華寺を結び付けた。

③かねさわの地形

- 砂鉄を40%含む地層で「小柴層」にあたる。産鉄のためにこの小柴層が使われ、下流域で土砂が堆積された。
- 円海山周辺にたたら場（鉄を取り出す場所）があり、周辺には「かなくそ」が採取されていて、鎌倉幕府の重要な軍需物資である矢じりの生産拠点となる。

【源頼朝が鎌倉に幕府を開けた理由】 (先生持論)

①頼朝はここ金沢の地で協力者の元、砂鉄掘り・炭焼き・たたら場といった「製鉄コンビナート」を秘密裏に作り上げ、当時の戦略物質である「矢」の生産を行っていた。伊豆に流されている間に軍事力を整えて、房総半島へ渡り、平家打倒が可能だけの矢数が揃っている事を宣伝して兵力を集めて鎌倉へ入り、宣伝が本当であることを坂東の武士たちへ見せつけ、味方につけた。

⇒「鉄を制する者が天下を制する」(先生持論)

- ・「かねさわ」には砂鉄と炭(森林資源)が豊富で、発掘された遺跡から「かなくそ」が出土(発見)されています。製鉄(産鉄)に関する資料はトップシークレットで、文書には残さないことが徹底されていて、この分野の研究が進んでいない。
- ・この時期(頼朝蜂起の20年前から)「かねさわ」の地は秘匿され、この地域を「かねさわ」と呼ぶことも禁忌であったと考えられます。

②鎌倉時代以降海面変動が比較的少なく、二つの入海は異なった様相を見せました。瀬戸で仕切られた北側の入海は土砂の堆積が進み、江戸期には干潮時に干潟となり、走川、宮川の滞り出現して、鎌倉幕府はここを殺生禁断の入海と定め長らくそのおきてが守られていたと考えられます。一方南側に広がる入江は良港となり、湾港施設が設置され鎌倉への物資の集積地となった。

【先生のご希望】

「かねさわ郷土資料館」熱望

金沢区の景観は日々変貌が続き、金沢八景をせめて資料館として保存伝承していかななくてはならないと思います。誰もが学べる資料館を熱望します。

【感想】

土地開発が進み、山は削られ、海は埋め立てられて金沢八景の景色は大きく変貌しました。戦後の高度成長期は日本経済が華々しくなりましたが、一方で環境汚染や資源の枯渇をもたらし、自然を破壊してきました。今回の学習会で我々一人一人が「文化遺産」を大切に守らなければいけないと再認識致しました。



名勝金沢八景の要「洲崎」の歴史

講師：山本 宏文氏

出席者		一般会員	委員	計 (出席率%)	ビジター	合計	アンケート (提出率%)
	男	47	6	53 (60.9%)	0	53	
	女	13	1	14 (58.3%)	1	15	
計		60	7	67 (60.3%)	1	68	38(62.2%) 38/61

①講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
24 名	10 名	3 名	1 名	0 名

- ・実際に基づいた話で良かった。
- ・フランス式がわからない。洲崎ができたのが良くわかった。
釜利谷のカナクソを観に行こうと思った。ゆっくりとした説明がわかりやすかった。
ユニークで楽しい、プラタモリを呼んでほしい。本当かな頼朝の軍事の話。円海山に行ってみよう。
龍華寺に水脈があったのはわかった。金沢の共同資料館を作ってほしい。
- ・発想力、柔軟性の豊かさに感服した。それぞれの言葉の意味を考えることの大切さを感じた。
- ・本内容以外の自己紹介が長すぎる。事象はそこそこ理解できたが洲崎の歴史の時系列が今一つ
- ・洲崎の成り立ちに関する壮大なロマンを聴くことができ楽しかった。
小柴層の砂鉄の始まりを聞き、それが鎌倉幕府の成立につながったとは驚きでした。
- ・金沢の歴史というと、金沢文庫の蔵書などから中世に目が行ってしまうが、その後の歴史に注目されていて興味深かった。仮説を立てての話の進め方が良かったと思う。
- ・洲崎の地形、歴史とても興味深かった。自由な発想は素晴らしい。氷取沢で砂鉄がとれたとは。
- ・最初の自己紹介が 25 分程度続いたのがもったいなかったような気がします。(大切ですが) せっかくの資料のもっと詳しい説明が聞きたかったです。
- ・砂州は良い水が出なかったが、洲崎は鎌倉幕府(頼朝)によって造られた。
- ・史実に基づく説明でなく、難しい持論を展開してわかりにくかった。
- ・大変面白かった
- ・豊富な図や写真を使った話が分かりやすかった。
幼少期の体験を踏まえた話が興味深かった。
- ・文系出身にもかかわらず、理系の話を織り交ぜ素晴らしい講演だった。
仮説(自説)も納得できる内容だった。地元愛を熱く語っていただいた。
- ・地元愛にあふれた話で面白かった。中身では金沢の歴史が説得力があり興味深かった。
- ・ご自身の研究成果の発表。素晴らしかった。
- ・金沢八景、洲崎の一面を知ることができました。理解は難しい。
- ・郷土愛にあふれた話しぶりで好感が持てた。特に砂鉄の話は興味深かった。

本題に入る前に少々間があるので時間が少しもったいないと感じました。

- ・洲崎の歴史が良くわかった。地図の説明がわかりやすかった。
- ・歴史と地理を兼ねた解説が面白い
- ・声が通って聞き取りやすかった
- パワーポイントのスライドの文字がもう少し大きいと良い
- ・鉄を主体とした説を展開されたのが興味深かった。近くにカナクソを見たことあり。
　　但し、頼朝挙兵と関連付けるのは??
- ・洲崎の歴史が良くわかった。講師の先生の活舌がとてもなめらかで聞き取りやすかった。
- ・地形から歴史を見る視点が大変良かった。
- ・金沢（カネサワ）の地が砂鉄による製鉄と結びついていたことは新たな知見であった。
　　今後関心を持っていきたい。
- ・今後の勉強の奉公に参考になった
- ・興味深い話で良かった
- ・地元の話で興味深く聞いた。
- ・一般歴史書では得られない話で面白く伺った。
　　山本氏の豊富な知識とあくなき想像力で新しい史実が結実して行くのを期待したい。
- ・図表の作成ありがとうございます。長浜第六天という神仏の説明希望。釜・斧・荻と鉄の関連。
　　郷土資料館の新設賛成です。資料 300 円買いました。
- ・製鉄という視点からの歴史観は面白かったです。
- ・身近な場所の歴史だったので興味深く受講できました。地域の古地図が手元にあればもっとわかりやすかったとおもいます。
- ・「洲崎」中心の話をもっと知りたい。
- ・地域に関わる大変興味深い話でした。
- ・話が新鮮だった。化学分析を実際に行いそれを裏付けとしている。
- ・講演内容に沿った資料が欲しかった。

②今後講演していただきたいテーマ

- ・本日は考古学的なベースが基準であったようですが、洲崎について人文学的な見地からの話を聴いてみたい。
- ・歴史仲間をご紹介いただき、六浦など他の地域について話が聞けたら嬉しいです。
- ・長浜千軒についてと洲崎の関係についての漁場、並木の地名の生い立ちを知りたい。
- ・続きをお願いしたい
- ・金沢と鉄
- ・地形の変遷、鉄の算出などさらに研究成果を拝聴したい。
- ・金沢に住む人間として今回の内容をもっと深掘りして説明していただきたい。
- ・もちろん金沢八景の今昔でしょう（仮説で OK.ほら吹きとはいわないが・・・）
- ・本日のレジュメに沿った講演
- ・神奈川県内の製鉄について。「ブラタモリ」について
- ・金沢区内の古代の歴史をお願いしたいです。
- ・研究の続きをお願いしたい。
- ・戦国時代（小田原北条氏支配時）の金沢地区の様子
- ・明治以降の金沢について

③学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
18名	13名	3名	0名

記入なし 4

- ・ご苦労様です。
- ・代表のリード
- ・地元金沢をより深く知ることができた。製鉄の地名の各地を知ることができた。歴史の由緒が郷土となった。
- ・運営は素晴らしい。お疲れさまでした
- ・運営委員の皆様ご苦労様でした。
- ・明瞭な司会進行で良かった
- ・運営内容の説明がわかりやすかった。
- ・もっと若い人へのPRが必要ではないか（市大や関東学院）

④”わ”の会について、何でもお書きください。

- ・いつもありがとうございます。毎回楽しみにしています。
- ・丁寧な運営ありがとうございました。
- ・今日の学習会受講で来る7月学習会が楽しみになった
- ・会場寒かった
- ・新体制のもと期待しています。
- ・先生の話の途中で私語を発する方たちが少しいらっしゃいました。

運営委員代表の意見・感想

今回は、地元金沢の郷土史を研究している山本宏文氏に講演していただきました。

生粋の金沢っ子らしい郷土愛溢れる熱っぽい講演でした。金沢の中心部に位置する「洲崎」を鉄と関連付けた話を興味深く聞きました。大学の先生によるオーソドックスな話も面白いですが、地元の人でないと気づきにくいユニークな話は会員にも好評であったと思います。個人的には、今後の学習会のラインナップに地元金沢の地域の話を取り入れていけたらと思いました。

わ”の会代表 鶴岡重典

ジョン万次郎は英語で「おおスザンナ」を歌った
古文書を読む会 伊達一雄

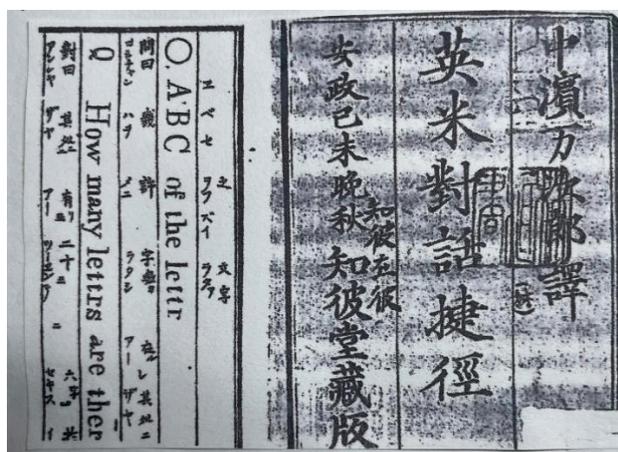
古文書というと全て日本語と思われそうですが、外国語がカタカナ表記で出てくる文献も読んでいます。その中で印象に残るのは土佐の漁民中浜万次郎の漂流記である「漂異紀畧」（ひょうそんきりゃく）です。

万次郎は14歳の時に漁に出て事故に遭い無人島に流れ着きます。そこでアメリカの捕鯨船に助けられ、ハワイ経由でカリフォルニアに渡り英語を学びました。自分ではJhon Mann ジョン・マンと名乗っていましたが、ジョン万次郎という呼び名は昭和12年に井伏鱒二が書いた『ジョン萬次郎漂流記』で一般化したと言われます。彼は25歳になって日本に帰りましたが、まだ鎖国の時代だけに幕府から厳しい取り調べを受けました。

私が興味を抱いたのは波乱万丈の冒険談ではなく、寺子屋にも行っていない万次郎が異国の言葉である英語をマスターした適応力でした。万次郎は自分の耳で聞いた英語をカタカナで書いていますが、ヒアリング能力の高さに驚きます。例えば地名ではハワイのオアフ島は「オアホー」、ホノルルは「ハナロロ」、アメリカのニューベッドフォードは「ヌーベッポー」、また捕鯨船から見たコメット（彗星）を「カメツ」と書いています。発音としては日本人になじみの表記より、万次郎の方が原語に近いような気がするのは私だけでしょうか。彼が伝えたアメリカの情報は写本という形で日本中に広まりましたが、坂本龍馬も影響を受けた一人です。

万次郎は安政6年(1859年)に日本初の英会話書『英米對話捷徑』を出しました。この本は咸臨丸でアメリカに渡った勝海舟や福沢諭吉らが船上で勉強した参考書と言われています。どうしても現物を読みたくなり、万次郎の故郷に近い土佐清水市立市民図書館に問い合わせました。暫くして所蔵している39ページの現物のコピーが送られてくる親切な対応に感激し、大事に保存しています。古文書は本来縦書きですが、ここでは横書きで紹介します。

初めに「歌之安辨制」アベセの歌を紹介しています。ABC（アベセ）は26字あり エービーシーリーイーエフチーと表記し、「彼国童兒二教ユルニ如此節ヲナシテ復誦ナサシム」とあります。



日本では「キラキラ星」でお馴染みの曲に合わせてアルファベットを勉強した人も多いのではないかと思います。

本文の初めは安否類で、右側から
善 日 でござる、次行に
グーリー デイ シャー、次行に英語で
Good day Sir、と書かれています。
かなり読みにくいのですが、初歩の英会話本としてはよく出来ていると思います。

アメリカの学校に通った万次郎は読み書きが達者で、恩人の捕鯨船長宛の手紙を読めば、中学から大学まで英語を学んだ私の遠く及びところではないことを痛感しました。

好奇心旺盛な万次郎は捕鯨船に乗って航海をする一方で、1849年にはゴールドラッシュで沸くカリフォルニアの金山にも出かけています。この道中で、フォスターが作り日本でも親しまれている「オオスザンナ」を英語で歌ったという話が伝わっています。

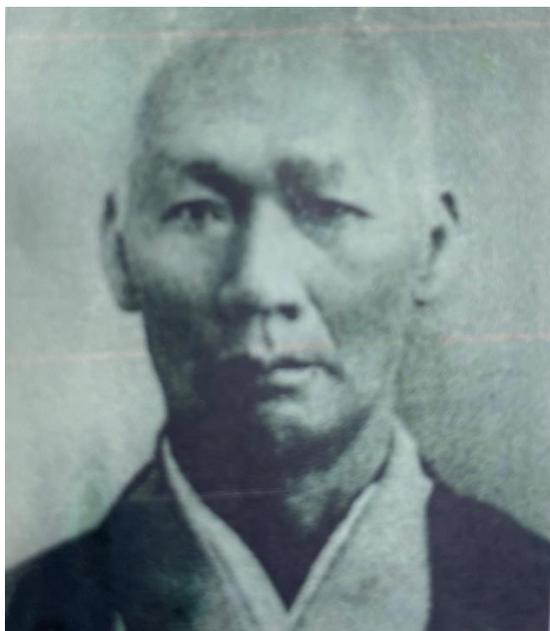
これは実話で、古文書を読む会で学習した『土州人漂流記』に載っていましたのでその部分を紹介いたします。「アメリカ国日本詩歌之類あり又道中にて謡ふ其文を和解すれば **向心の山坂より恋しと思ふ人がパンクウクウ来る目に涙を挟て**」が原文です。太字の部分は万次郎が和解（わけ）日本語に訳したのですが、実は「オオスザンナ」の三番の歌詞で原語はこうなります。

I Saw Susanna dear, coming down the hill, Do buckwheat cake was in her mouf, de tear was in her eye.

説明するとbuckwheatはパン粉のケーキで、moufはmouth(口)です。直訳すれば向こうの丘から恋しい人スザンナがパンを食べながら駆け下りて来る。目に涙を挟んでとなります。最後のフレーズは目に涙を溜めてという日本語を知らなかった万次郎の苦心の表現とっていいでしょう。日本で歌われた最初のフォークソングは「オオスザンナ」ですが、家内が女性合唱団の発表会で「この歌はジョン万次郎が伝えた」と説明されたそうです。

ロサンゼルス市が5月17日を大谷翔平の日と制定したニュースが大きな話題になりました。背景にはアメリカが5月をアジア系米国人らの功績を讃える月間に行っているからという解説がありました。実はジョン万次郎がホイットフィールド船長に連れられて日本人として初めてアメリカ本土に第一歩を印したのは1843年5月7日です。だからこの日を日系アメリカ人の歴史が始まった日という研究家もいます。万次郎とショウハイ・オオタニが繋がっていたのは面白い発見です。

ジョン万次郎は英語を使いこなした人物として、激動の幕末の歴史に名を残しました。彼の英語習得の原動力は何よりも現代にも通じる「好奇心」だと思います。



晩年の万次郎

語学の重要性は現代にも通じますが、万次郎が国際人第1号とも言われている割には評価されていないのは、ファンである私にとっては残念の一言に尽きます。

中浜万次郎は1898年(明治31年)71歳でなくなりました。最後の官職は東京大学の前身である開成学校教授でした。

土佐の漁師が漂流の末にひとりでアメリカで勉強して帰国し、東大教授まで務めた生涯は記憶に止めたい快挙だと思います。

『寺社を巡る会』活動記録

令和5年第12回

令和6年第1回～第2回

令和5年度

第12回 足利一族ゆかりの地を歩く

開催日：令和6年4月4日（木）天候 曇り

コース：京急バス停「泉水橋」（集合）～足利公方邸跡～御馬冷場～いなり道～浄妙寺～報国寺～田楽辻子の道～関東管領上杉氏屋敷跡（上杉朝宗・氏憲邸跡）～京急バス停「杉本観音」（解散）

参加者：会員18名、ビジター1名 計19名

今回は足利一族ゆかりの地を歩く。雨も上がり咲き始めたソメイヨシノが随所で見られた。

泉水橋からすぐ近くに足利公方邸跡碑がある。周辺一帯は足利義兼が居を定めて以来約270年にわたって足利氏の鎌倉屋敷となった場所。鎌倉公方は尊氏の子基氏を初代に五代成氏まで世襲された。少し歩いた山の崖に源頼朝の愛馬、生食と磨墨の足洗い場との伝承の御馬冷場がある。浄妙寺に向かう山沿いの道の途中に大きな榎があり、その下になり道の庚申塚が三基立つ。このあたりの地盤の低さは公方屋敷の池の名残ではないかとされている。

更に10分ほど歩くと浄妙寺に着く。浄妙寺は鎌倉五山第五位、臨済宗建長寺派の寺院。初め真言宗極楽寺として足利義兼が文治4年（1188）創建。正嘉年間（1257～1259）に臨済宗の寺院になる。元弘3年（1331）に浄妙寺に改名したといわれている。



（浄妙寺）

総門をくぐると正面に本堂、起（むくり）と呼ばれる独特の屋根を持つ。本尊は釈迦如来像。寺の裏の墓地には、足利貞氏（1273～1331）の墓と伝えられる立派な宝篋印塔がある。実際には「明德3年」（1392）と記されていて、貞氏が亡くなってからかなりの年数がたっている。



（足利貞氏宝篋印塔）

総門の東側の坂道を奥に進み、かなり急な石段を上がると鎌足稻荷神社がある。大化2年（646）に鹿島神宮に参詣する途中、浄妙寺の裏山に「鎌」を埋めたとされる。鎌倉の名はこの話しがもとだとも伝えられている。

浄妙寺を出て鎌倉街道を歩くと華乃橋の際に庚申塔がある。更に数分進み報国寺の入り口に着いた。



（報国寺）

報国寺は臨済宗建長寺派の寺院で建武元年（1334）に足利家時が創建したと伝えられる。宅間上杉を開いた上杉重兼開基説もある。かつては足利氏と上杉氏の菩提寺として栄えた。明治時代の火災で貴重な寺宝が失われたが、開山の天岸慧広が元にした時から帰国後に亘って作った漢詩を集めた「東帰集」（国重文、五山文学の代表作）が伝えられている。本堂裏の崖に足利一族等の墓（家時と義久とされる宝篋印塔）と伝えられるやぐらが並んでいる。青々とした手入れの行き届いた美しい竹林を一回り、さすが「竹の寺」と感心する。



（竹林）

本堂左の鐘楼の脇に多数の小さな五輪塔が置かれている。碑には「元弘3年(1333)5月の北条一族と新田勢の合戦の折の、両軍戦死者の遺骨を由比ガ浜より改葬した」旨が記されている。

報国寺前から田楽辻子の道に入る。筋替橋まで続く小径、田楽師が住んでいたことから名前が付いた。途中に上杉朝宗・氏憲屋敷跡の碑がある。氏憲は関東官領職を巡る争いから足利持氏に謀反を起こし敗れて雪ノ下で自害した。県道を杉本観音バス停まで歩き解散した。

雨予報の影響か、それとも春休み時期のせいかわ、参加者が少なめであった。今回で2023年度の探訪はすべて終了、一年を通し事故無く無事に回れたことに感謝したい

（横山美智男 記）

令和6年度

第1回 和田の里に義盛と一族の伝承を尋ねる

開催日：令和6年5月2日（木）天候 晴

コース：三浦海岸駅（集合）⇒ 来福寺 ⇒ 庚申塔群 ⇒ 五劫寺跡 ⇒ ワクリ井戸 ⇒ 神明白旗神社 ⇒ 天養院 ⇒ 和田義盛旧里碑（八雲神社境内）（解散）

参加者：32名

今回は三浦一族の棟梁大介義明の孫で頼朝の鎌倉幕府立ち上げに功があったことから侍所の別当に任ぜられた和田義盛ゆかりの地を探訪した。

集合場所からしばらくたらたら坂を歩き来福寺を訪れる。建永年間（1206～7）に開基和田義盛、開山僧祐憲により鎌倉名越に建立されたが、後に和田の地に移転し「和田の乱」で



（来福寺）

敗れた義盛の菩提寺となった。元は天台宗で浄土宗、浄土真宗と変わって現在に至る。寺宝として義盛自身が鑿を入れたという義盛公の木像、本殿入口の階段の上に波の伊八の彫刻がある。

寺の裏の山道を少し登ると広大な畑の中に出てきた。庚申塔群に目を止めつつ、こんもりとした木立の中にある日枝神社に向う。この地は「塔の台」とも呼ばれる。義盛が信仰する行基作の地蔵尊を祀る地蔵堂があった所と言われる。後に承久の乱から生き延びた孫の朝盛がこの地に逃れ高円坊と名乗り一族の菩提を弔い田畑を開墾して余生を送ったとされ、地名の由来とされている。神社の前に朝盛を顕彰する碑がある。地蔵堂は大井戸山五劫寺となり寛永年間に浄土真宗に改宗し、大井戸の地に遷されたが明治に廃寺となる。畑の間の道を草をかき分け歩くと「ワクリ井戸」の碑がある。塔の台の山裾にあった湧水は三浦五井のひとつ「大井戸」とも言われ和田の里の田畑を潤した。和田義盛が塔の台の地蔵尊に参拝する時、水垢離をしたと言われる。

続いて神明白旗神社。明治以降に編纂された地誌に和田一族が北条一門と戦いをして滅びた建暦3年（1213）から51年後、里人が義盛の遺徳を称えて創建したとある。

続いての天養院では昇堂して拝観させて頂いた。永禄2年（1559）創建の浄土宗の寺院で、本堂は江戸時代の建立。本尊は阿弥陀如来。行基作と言われる薬師如来は顔からお腹にかけて傷があり、義盛の身代わりになったと言われている。脇侍の日光、月光菩薩と共に県の重要文化財である。他に磨りガラスの天袋には

十二神将が並んでいる。



（天養院）

最後に和田義盛旧里碑に行く。三浦市和田地区は義盛に関する多くの伝承が残ることから和田氏の本貫地と言われ大正10年に八雲神社の境内に紀州藩家老の家柄で三浦氏の末裔にあたる男爵三浦英太郎により建立された碑がある。ここで解散し近くの和田バス停まで向かう。



（八雲神社と和田義盛旧里碑）

前日の雨も止み集合時刻の頃は少々肌寒かったが、お天気も良く気持ちよく歩けた。坂有り、階段有り、草をかき分けの道有りの探訪であったが、怪我をする人もなく無事終える事が出来て良かった。

（熊谷滋子 記）

第2回 六浦の寺社を巡り瀬戸神社宮司の話聞く

開催日：令和6年6月6日（木） 天候 晴

開催場所：横浜市金沢区

参加者：32名（うち ビジター1名）

コース：京急金沢八景駅（集合）⇒ 瀬戸神社（宮司の話、ヤマアジサイの鑑賞）⇒ 金沢八景権現山公園（旧円通寺客殿見学・園内巡り）⇒ 米倉陣屋跡（墓所、笠森稲荷）⇒ 上行寺（解散）

今回から、住職や宮司のお話と寺社巡りを組み合わせたシリーズをはじめた。第一回は瀬戸神社宮司のお話と金沢八景権現山公園、米倉陣屋跡や上行寺を巡った。

金沢八景駅に集合。3組に分かれ横濱金澤シティガイド協会のガイドについて瀬戸神社に向かう。宮司の話のテーマは神社に残る神号額について（社務所の会議室）。「正一位大山積神宮」と記されたものが最も古い。瀬戸神社の御祭神である大山祇命（おおやまつみのみこと）。正一位は、



「神階」といって神々に与えられた階位。この（神号額）額は延慶4年（1311年）に書かれており執筆者は「沙弥寂尹（じゃくいん）」とある。寂尹は藤原経尹（つねまさ）の出家した法名。「三蹟」として書道の名人とされる藤原行成から十代目にあたり、書道の流儀は世尊寺流と呼ばれた。平安時代初期の空海、橘逸勢、嵯峨天皇の「三筆」、平安時代中期には小野道風、藤原佐理、藤原行成の「三蹟」は書道の達人とされる。鎌倉時代になると武家の素養として武芸とどまらず「能書」「手跡」も重視されるようになった。九代目の藤原経朝は、関東に下向し安達泰盛に書写の口伝をしている。金沢貞頭は父頭時の年忌法要の為に諷誦願文の清書を藤原経尹（すなわち寂尹）に依頼している。貞頭は六波羅探題に任中にこの神号額を、「正一位」の神階とともに、藤原経

尹に依頼したものと良いという話だった。また、本殿正面の「瀬戸神社」という額は、寛政の改革の松平定信のものを、社殿修復時に、郵政改革の小泉純一郎元総理大臣に変更したものだ。話のあと、社務所の資料室を見学。

次に、金沢八景権現山公園に行く。ここは円通寺客殿が復元されたところ。家康が一泊して景観を気にいった場所が権現山といわれる。円通寺は東照宮がこの地に造営されたときにその別当寺になったようである。東照宮参拝後の客人の接待のために作られていたのが客殿。客人の籠をそのまま横付けできるような玄関の広さになっていたとのこと。



（権現山公園 円通寺客殿）

続いて米倉家の墓地。米倉家は、仕えた甲斐武田氏の滅亡後、家康に旗本として仕え、その後大名となり、皆川からこの地に移ってきた。ここは最後の藩主となった米倉昌言等

の墓がある。また、中世の能仁寺の跡といわれ、江戸時代に多数の白骨が出土したので、供養のため「萬霊塔」が建立されている。さらに奥の笠森稻荷も参拝する。



(米倉家墓地)

最後は日蓮宗の上行寺。千葉家の家臣である富木常忍が鎌倉へ来る途中で日蓮と船中間答をかわして日蓮に帰依した。そのあと有徳人の六浦妙法が再興した。妙法は称名寺の住職と囲碁

の賭けに勝って仁王尊を担いで身延山へ運んだという伝説から日荷上人と呼ばれた。日荷上人の墓とされる多宝塔がある。また、牛馬を供養する「牛馬六畜供養宝篋印塔」がある。



(上行寺)

今回は話が一時間、歩きが一時間半と比較的楽なコースになっていた。皆さんはそれぞれ楽しんでいた様子ですので、良かったと思う。

(松崎 寛 記)

古文書を読む会 学習記録

開催日 会場 テーマ	学 習 内 容	参加者
2024年 4月11日 (木) 金沢公会堂 第2会議室 酒井伴四郎 の江戸勤務 日記	<p>最近学習会に新規参加者が増えたため、真田講師は彼らの事情を考慮して、今回は変体仮名等古文書の基本についての講義が中心であった。学習会に参加している経験者でも必ずしも崩し字等基本に精通しているわけではないので、これらの解説はととても有益であった。</p> <p>7月2日は、五郎右衛門、民助、直助などが伴四郎の住まいを出入りしている。また、本人は琴春方に三味線の稽古に出かけた折、買い物をしている。また当日は周辺で火事があったが、早く鎮火したようだ。</p> <p>7月3日は、涼しかったため行水をする必要はなかった。おじ様はいつものように薬湯に出かけ、帰りがけに20個余りの桃を頂戴している。この間も直助、民助、五郎右衛門が伴四郎の住まいを出入りしている。</p>	13名
2024年 5月9日 (木) 金沢公会堂 第2会議室 酒井伴四郎 の江戸勤務 日記	<p>今月の学習会は、伴四郎の日記7月7日から16日までの10日間の査読を行った。</p> <p>相変わらず、五郎右衛門、民助、直助などが伴四郎の住まいを出入りしている。その間には、日ごろ出入りしていると思われる店から、生活に必要な日用品や食料などを購入している。さらに、季節の祝い事、あるいは折あるごとに世話になった人々への返礼に品々のやり取りをしている。こうした情景は、現在の我々の生活と何ら変わらないことを思わせ、親しみが湧いてくる。</p> <p>さて、7月9日の日記には、インキンたむしが伴四郎の下半身急所まで拡散し、おおいに困窮したことが記されている。著者の伴四郎は、まさか160年以上を経た現在人に自分の日記を読まれようとは、夢にも思わなかったに違いない。現代人ならたとえ他人の目に触れない私的な日記といえども、インキンたむしの件は割愛するに違いない。今、伴四郎がこの世に現れたとしたら、どのような表情をするのだろうかと思像すると、滑稽さが込み上げてくる。</p>	11名
2024年 6月13日 (木) 金沢区民セ ンター AB会議室 酒井伴四郎 の江戸勤務 日記	<p>今月の学習会は、日記7月17日から24日までであったが、7月中は出紋稽古はなく雑務や友人、同僚、使用人などとの付き合いの様子が主に記録されているが、大体が平面的な記述で彼らに対する誉め言葉もなければ、悪口も無い。ただし話が捨て子のことや家族のことになると故郷を思い出すようでやや感傷的になる。</p> <p>叔父と直助の3人の長屋暮らしで単身赴任の身であってみれば、せめて勤務に余裕のある余暇を彼なりに有意義に利用しているのではないか。</p> <p>少し暮らしに慣れてきたのか叔父や仲間の直助との暮らしについては少しずつ自分の意見・感想などを述べ始めている。</p> <p>例えば7月21日の日記で、叔父様との金銭の貸し借りで口論し、計算の正しさを叔父に認めさせている。これまで叔父様の動向には尊敬語が使われており、年配者を丁重に扱っていた。また仲間の直助についても意外にケチと評しはじめてもいる。</p>	11名

通算 第 194 回 頭高山から震生湖

頭高山から震生湖は、昨年9月に計画したが、ヤマビルが多いという情報で今年度に延期し、ヤマビルが少なく、八重桜のいい季節の4月にスライドしたコースです。

頭高山周辺の千村地区は、八重桜の里としても有名で、戦後、各農家が植樹を重ね、今では千村地区一帯で2500本ほどが栽培されています。頭高山のある千村地区は食用八重桜の生産日本一とされています。

秦野駅をスタートし、頭高山への途中にはチューリップで有名な泉蔵寺、そして樹齢600年ほどの杉の大木が群生してる千村の鎮守である白山神社を經由して頭高山に向かう。途中からは表丹沢の山並みが見られた。頭高山辺りでは、見事に山あい一面に満開の八重桜を見ることが出来た。頭高山の入口にある眺望ポイントからは、鍋割山、塔ノ岳、三の塔、二の塔、大山などが眺められた。山頂を一廻りし、頭高山登り口に戻り、渋沢丘陵のコースに向行った。渋沢丘陵の南側にあり最近富士山の眺望が良いと評判の八国見山に向かった。八国見山頂上で素晴らしい富士山を眺めながら昼食を摂った。

渋沢丘陵に戻り昨年100年を経過した震生湖(関東大震災で震生湖は誕生)を目指して渋沢丘陵を歩いた。途中表丹沢の眺望は素晴しものであった。八国見山から浅間台を通り1時間20分で三つ目の目的地震生湖に着いた。震生湖の外周を散策し、素晴らしい新緑を楽しんだ。震生湖から今泉名水公園を經由し15:00に秦野駅に無事ゴールした。

今回のコースでは、満開の八重桜、菜の花、新緑、道端にはシャガ、踊子草、ホウチャクソウ、ハナルリソウ、各種スミレ、一重・八重のヤマブキ等 百花繚乱の山道を楽しみました。

実施日：2024年4月19日(金) 天候：晴れ 歩行時間 4時間50分 歩行距離 約14.5km

参加者：14名(男性12名 女性2名) コース所在地：神奈川県 秦野市

交通：往路 金沢文庫 6:22 京急特急→6:39 横浜 6:51 相鉄快速→7:29 海老名 7:45 小田急→渋沢 8:13

復路 秦野 15:15→16:17 横浜

コースと時間：渋沢駅 8:40⇒泉蔵寺 9:25⇒白山神社 9:40⇒10:20 頭高山 10:35⇒かりがねの松 11:00 ⇒11:45 八国見山(昼食) 12:10⇒13:30 震生湖 14:00⇒今泉名水公園 14:45⇒15:00 秦野駅

頭高山花吹雪観て笑みこぼる 一柷



頭高山の八重桜



震生湖湖岸

通算 第 195 回 神皇正統記ゆかりの山 宝篋山 ほうきょうざん

今回も、2021 年 5 月に計画したがコロナ感染症対応で県内のみに変更された茨城件つくば市の独立嶺の宝篋山です。

宝篋山はつくば市北東部にある標高 461m の山です。古くは三村山あるいは小田山と呼ばれ、山頂の宝篋印塔(高さ約 2m)をはじめ、周辺には歴史的石造物が数多く残っています。

宝篋山山頂からは、東には霞ヶ浦、遠くに太平洋(鹿島灘)を望むことができます。また南西には関東平野を一望でき、空気の澄んだ日には富士山が、北には名峰筑波山、その先には榛名山・赤城山・日光連山と 360 度のパノラマを楽しむことができます。

宝篋山にはいくつかのコースの組み合わせがありますが、今回は一般的な極楽寺コースを登り山頂、そして小田城コースを下り途中で左に向かい小田休憩所に戻るコースです。

宝篋山入口バス停から徒歩約 5 分の小田休憩所で登山準備体操をして 10:20 スタート。先ず忍性が寄ったと言われる極楽寺跡で大きな五輪塔を拝み、所々に小さな滝がある溪流沿いの道を登って行き、純平歩道を右に 5 分ほど歩くと山桜の森への登り道となります(大岩群が有)。しばらく行くと常願寺コースと合流、宝篋城空堀跡を通り 15 分ほどで山頂に到着(途中ではクリンソウ、ナルコユリ、タツナミソウなど、そしてヤマツツジが咲いていた)。山頂で昼食休憩とした。山頂からは良い眺めを期待していたが全面に霧がかかっており眺望は全くありませんでした。山頂には、山名の由来となった宝篋印塔(鎌倉時代のものといわれている)がある。

13:00 に山頂を出発し小田城コースを下る。「下浅間神社」「硯石」「七曲」「堂平」経由し、富岡山頂登り口に到着。この分岐を左折し小田休憩所に向かう。途中、要害展望所についた頃には霧が晴れ見晴らしが良くなってきた。ここからは、田植えの終わった水田、土浦市方面と牛久大仏などが見られた。ロープのある急坂を下って、少し行くと太子堂に到着。ここには八十八体の弘法大師の石造と御堂がある。極楽寺があった当時はこの辺りにも寺があつたとされている。さらに下り分岐を左折し 15:00 に小田休憩所に無事到着した。朝は見えなかった宝篋山山頂が見えるようになっていた。宝篋山入口バス停から土浦駅行きのバスで土浦駅に到着し解散した。

実施日：2024 年 5 月 16 日(木) 天候：曇り 歩行時間：約 4 時間 歩行距離 約 6.4km
参加者：15 名(男性 12 名 女性 3 名) コース所在地：栃木県 つくば市
交通：往路：京急 金沢文庫駅 6:22 発 ⇒ 品川駅 7:06 着・(乗換)、JR 上野東京ライン 7:22 発 ⇒ JR 土浦駅 8:46 着 土浦駅西口バス停 9:25 発⇒宝篋山入口バス停 9:53 着
復路：宝篋山入口バス停 15:24 発⇒土浦駅西口バス停 16:05 着 JR 土浦駅 17:28⇒JR 上野駅 18:30 着・(乗換)、JR 上野東京ライン 18:41 JR 横浜 19:14 着・(乗換) 京急線横浜駅 19:21 発 ⇒ 金沢文庫 19:41 着
コースと時間：宝篋山入口バス停 9:55 発⇒ [歩 5 分]→小田休憩所 10:00 着(挨拶・体操)、10:20 小田休憩所発⇒(徒歩 120 分)宝篋山頂上 12:20(昼食) 13:00 [歩 120 分] 小田休憩所 15:00 着(トイレ休憩・事務連絡) 15:15 発 [歩 5 分] →宝篋山入口バス停 15:20 着

田植へ済む幾何学模様俯瞰かな 一祝



宝篋山山頂



太子堂・弘法大師石造

今回は、昨年 7 月 9 月に計 4 回天候不良で中止となったコースの再チャレンジです。

コースは、箱根寄木細工で有名な畑宿から飛龍の滝、芦之湯分岐、鷹巣山、浅間山を登り小涌谷の千条ノ滝に下るコースです。

畑宿で準備体操し 10:25 スタート、箱根旧街道の車道沿いを登って行くと飛龍の滝自然探勝歩道の案内板がありそこから山道に入る。しばらく行くと畑宿夫婦桜(もとは 2 本だった山桜が根元と幹で繋がり今では 1 本となっている非常に珍しく縁起の良いもの)があった。だんだん急坂になり飛龍の滝まで 30 分の看板あり、さらに行くと小さな橋に着く。その下には飛龍の滝からの水流がゴツゴツした岩の間を流れる光景が素晴しかった。さらに登って行くと飛龍の滝まであと 500m、そして 100m 看板があり、飛龍の滝に到着。

昨日までの雨の影響で水流が多く勢いのある雄大な滝でした。滝にかかったウツギにはジャコウアゲハが舞っていました。滝の辺り地質構造は柱状節理とのこと。登山道に戻りさらに登るがこの道は、畑宿と芦之湯温泉を結ぶ近道であり、通称「滝坂道」といわれていた。途中ヘイケボタルが見られた。多くの階段を休み休み登り湯坂路に入る。ここから若干登り 12:30 鷹巣山に着き昼食タイム、ここでもジャコウアゲハが見られた。鷹巣山は豊臣秀吉の小田原城攻めに備えて北条方が山城を築いた場所といわれている。昼食後浅間山を目指し、千条ノ滝と浅間山分岐を直進し登ると開けたところに出る、そこから一段上ると、浅間山頂上に到着。昔は下鷹巣山と呼ばれ、江戸時代の富士山信仰から浅間信仰がおこり、中腹に浅間神社を祭ってから浅間山と呼ばれるようになった。休憩後、一段下の平地に戻り分岐を右に行き約 10 分だらだら下り、次の分岐を左に行く。ここからは急坂となるので、昨日までの雨で滑りやすいので気を付けながら下った。下りきったところで蛇骨川の橋を渡り右に行くと千条の滝に到着。千条(ちすじ)の滝という名の通り、幾すじもの水が、苔むした岩肌を流れ落ちています。幅約 25m、高さ約 3mの小さな滝です。昨日までの雨で水量が多く筋も多いのではないかと思った。ここからは箱根登山鉄道の小涌谷駅を目指し 14:55 に駅に到着。今回は、ふれあい 20 周年記念として、箱根湯本にて宿泊するので箱根湯本まで登山鉄道にりましたが、丁度あじさいが見頃でした。

実施日：2024 年 6 月 22 日(木) 天候：晴れ 歩行時間：約 4 時間 30 分 歩行距離 約 6km

参加者：17 名(男性 12 名 女性 5 名)

コース所在地：神奈川県 箱根町

交通：往路：金沢文庫駅 7:33 発 ⇒ 横浜駅 7:53 着・(乗換)、JR 小田原行 8:02 発 ⇒ JR 小田原駅 8:56 着・(乗換) 箱根登山鉄道湯本行に乗車 9:04 発⇒箱根湯本 9:19 着 箱根湯本バスターミナル 9:45 発 畑宿バス停 10:10 着

復路：上小涌谷 14:58 発 箱根湯本 15:32 着

コースと時間：畑宿バス停(挨拶、体操) 10:25 発⇒ 飛龍ノ滝 11:20 着、11:30 発⇒湯坂道入口通過 12:10⇒鷹巣山 12:30 着(昼食) 13:00 発⇒浅間山 13:30 着、13:35 発⇒千条ノ滝 14:25 着、14:35 発⇒小涌谷駅 14:55 着

二十年集ひて祝ふ夏山路 一椀



飛龍の滝



千条の滝

最高の花婿

観賞日 2022年4月8日 上映時間 97分

【参加者：46名】

【概要】

制作 2014年 フランス
 監督 フィリップ・ドゥ・ジョーヴロン
 脚本 フィリップ・ドゥ・ジョーヴロン、ギイ・ローラン
 音楽 マルク・シュアラン
 撮影 ヴァンサン・マチアス
 出演 クリスチャン・クラヴィエ（クロード・ヴェルヌイユ）
 シャンタル・ロビー（マリー・ヴェルヌイユ）、エロディ・フォンタン（ロール）
 パシカル・ンゾンジ（アンドレ・コフィ）、サリマタ・カマテ（マドレーヌ・コフィ）



【あらすじ】

フランス中部、ロワール地方のシノン。そこに暮らすクロードとマリーのヴェルヌイユ夫妻。夫妻は敬虔なカトリック教徒で4人の娘がいた。弁護士の長女はアラブ人弁護士、歯科医師の次女はユダヤ人、画家の三女は中国人の銀行員とそれぞれ結婚していた。娘たちの幸せを願う夫妻であったが、素直に喜べない何かを感じており、四女にはカトリック系のフランス人との結婚を望んでいた。長女に子供が生まれ、お祝いに家族が一堂に会する。しかし、そこはフランス語で会話をするが、異文化を持つ民族の垣塙。結局、夫妻は娘たちの夫と仲違いし、娘夫妻同士も売り言葉に買い言葉でけんか別れしてしまう。クリスマスの晩、再び家族が集合。皆、前回の失敗に懲りて大人の対応をする。やがて、四女のロールから、婚約を告げられた夫妻はフィアンセがシャルルという名でカトリックであることを聞き有頂天。しかし、会ってみるとシャルルはコートジボアール出身の黒人であった。一気に落ちこむ夫妻。結婚式を目前に控え結婚当事者と両親との会談。母親同士はうちとけるが、両方の父親は結婚に大反対。犬猿の仲の二人は魚釣りに出掛ける。そこで起きた出来事は・・・。

フランスで1300万人の観客を動員し大ヒットした映画。移民国家フランスをコメディタッチで描いた話題作。

【解説】

■ポイント

●娘たちの夫

姉妹	夫の名前	出身国	宗教	職業
長女	ラシッド	アラブ人	イスラム教	弁護士
次女	ダヴィッド	ユダヤ人	ユダヤ教	失業中
三女	シャオ	中国人	—	銀行員
四女	シャルル	アフリカ黒人	カトリック	役者

■見どころ

- 娘の夫たちの奇妙な連帯感
- 名作「招かれざる客」以降、50年近く経った現在でもまだある白人と黒人の結婚の障害
- ハッピーエンド ラストの父親二人の結婚式の挨拶

ブーリン家の姉妹 (The Other Boleyn Girl)

観賞日 2024年4月22日 上映時間 114分

【参加者：35名】

【概要】

制作 2008年 アメリカ・イギリス

監督 ジャスティン・チャドウィック

脚本 ピーター・モーガン

音楽 ポール・カンテロン

撮影 キアラン・マクギガン

出演 ナタリー・ポートマン (アン・ブーリン)

スカーレット・ヨハンソン (メアリー・ブーリン)、エリック・バナ (ヘンリー8世)



【あらすじ】

16世紀前半、イングランド国王のヘンリー8世は男の跡継ぎに恵まれなかった。ある日、国王はブーリン家を訪れる。ブーリン家には年頃の美人姉妹がいた。姉のアンは頭の良い野心家。妹のメアリーは心の優しい娘であった。ブーリン家の主、トーマスは姉のアンを国王が気に入るよう仕向ける。しかし、王の心を捕らえたのは妹のメアリーであった。メアリーは国王の招きで王妃の侍女となり一族は宮廷に引越しをする。メアリーは国王の寵愛をうけるが、アンは許婚のいる貴族と関係を持ちフランスに追放される。メアリーは首尾よく王の子を身籠るが体調を崩してしまう。窮地に陥った一族は急遽、アンを呼び戻す。アンはフランス仕込みの才覚でたちまち王の心をつかむ。待ち望んだ国王の求愛を一旦はねのけ、無茶な条件を要求するアン。王妃との離婚を要求し、アンを王妃にするという条件だ。カトリックでは離婚は禁止されているため、国王も悩むが苦渋の決断をし、ローマと決別する。勝ち誇ったアンはやがて妊娠するが、生まれた子はまたしても女の子であった。動揺するアンは遂に禁じ手を使うが、それがばれて断頭台の露と消える。アンが生んだ女の子エリザベスは、皮肉なことにやがてイングランドを世界一の大国に導く女王となる。

イングランドの歴史を変えた、ヘンリー8世とブーリン家の姉妹の愛憎劇。

【解説】

■イギリスの歴史（とくに宗教史）を語るうえでターニング・ポイントとなる時期

●ヘンリー8世（1491年～1547年）

イングランド国王、ローマカトリック教会から分離し、英国国教会を設立

●アン・ブーリン（1501年～1543年）

ヘンリー8世の2番目の王妃。

●メアリー・ブーリン（1500年頃～1543年）

ヘンリー8世の愛妾。アンの子供

●エリザベス1世（1533年～1603年・1559年即位）

アン・ブーリンの娘。スペインの無敵艦隊を破り、イングランドの第1次黄金時代を築く

■見どころ

●次代を担うスター、N・ポートマンとS・ヨハンソン夢の共演

・ナタリー・ポートマン（1981年・イスラエル生まれ）

代表作：レオン（1976年）、ブラック・スワン（2010年）

・スカーレット・ヨハンソン（1984年）

代表作：ロスト・イン・トランスレーション（2003年）、マッチ・ポイント（2005年）

・今は時めく、B・カンバーバッチとE・レッドメインも出演

男はつらいよ 寅次郎あじさいの恋

観賞日 2024年5月13日 上映時間 110分

【参加者：17名】

【概要】

制作 1982年 松竹

監督 山田洋次

脚本 山田洋次、朝間義隆

音楽 山本直純

撮影 高羽哲夫

出演 渥美清（車寅次郎）、倍賞千恵子（さくら）、いしだあゆみ（かがり）

下條正巳（車竜造）、三崎千恵子（車つね）、諏訪博（前田吟）、太宰久雄（たこ社長）

片岡仁左衛門（加納作次郎）、柄本明（近藤）、津嘉山正種（蒲原）



【あらすじ】

葵祭りの京都。鴨川べりで困っていた老人を助けた寅さんは老人に誘われて一杯ご馳走になる。すっかり酔いつぶれた寅さんは翌朝目覚めてびっくり。その老人は陶芸家で人間国宝の加納作次郎だった。加納の弟子の蒲原が結婚することになり、その報せを聞いたお手伝いのかがりはショックのあまり故郷の丹後に帰る。心配した寅さんも丹後にかがりを訪ね慰める。柴又に戻った寅さんの所に、そのかがりが突然会いにくる。別れ際、かがりから渡された文には「日曜日に鎌倉で待っています」と書かれてあった。モテることに不慣れな寅さん。いつもと様子の違う寅さんにちょっぴり失望したかがりはその日のうちに京都に帰る。柴又に戻った寅さんも失意の旅に出る。信州の城下町で商売をしていた寅さんの前に現れたのは・・・。

笑って、泣かせる人情喜劇の決定版。第29作はメロドラマ仕立てで、モテる寅さん。

【解説】

■ポイント

●男はつらいよシリーズ・共通のテーマ

寅さん：根無し草、自由人、不安定な生活

とらやの面々：定住、地道な生活

●本作（シリーズ第29作）、

・ロケ地：京都（市内・丹後伊根）、鎌倉・江の島、長野（大町）他

・ゲスト：いしだあゆみ（マドンナ）、片岡仁左衛門、柄本明他

■見どころ

●エピローグ

漂泊の絵かきの話は秀逸

●いつもと違いモテる寅さん

毎回、マドンナにふられる寅さんが本作では珍しくモテる役に

●伊根の舟屋の美しい風景

●人間国宝の傑作をそれと知らずにそんざいに扱う寅さん、灰皿代わりに使うたこ社長

サンセット大通り (Sunset Boulevard)

観賞日 2024年5月27日 上映時間 110分

【参加者：38名】

【概要】

制作 1950年 アメリカ

監督 ビリー・ワイルダー

脚本 ビリー・ワイルダー、チャールズ・ブラケット
D・M・マシューマン・Jr

音楽 フランツ・ワックスマン

撮影 ジョン・サイツ

出演 グロリア・スワンソン (ノーマ・デズモンド)、ウィリアム・ホールデン (ジョー・

ギリス) エーリッヒ・フォン・シュトロハイム (マックス)、ナンシー・オルソン (ベティ)



【あらすじ】

LAに住む売れないシナリオライターのジョー・ギリスは車の借金300ドルが払えず万策尽きる。ジョーは借金取りから逃げる途中、サンセット通りの古びた屋敷に逃げ込む。その奇妙な屋敷には2人の人が住んでいた。一人は往年のサイレント映画のスター、ノーマ・デズモンド。もう一人は彼女を崇拝する謎めいた執事マックス。ジョーが職業はライターと語ると、ノーマは自分が書いた原稿「サロメ」を見せ、ジョーを屋敷に住まわせシナリオを完成させるよう命じる。この20年間屋敷内に閉じこもり、外の世界に無頓着のノーマは今でも自分が大スターのつもりでいる。大晦日の晩、屋敷を抜け出したジョーは昔の仲間アーティーのパーティーに出席する。それを知り嫉妬に狂ったノーマは自殺を試みる。やがてシナリオが完成、ノーマは昔コンビを組んでいた巨匠デミルにシナリオを持ち込む。デミルに会いに日々訪れる映画スタジオ、懐かしい人たちとの邂逅。現役復帰を夢見るノーマ。ジョーはノーマに内緒で、友人アーティーの婚約者ベティと共同作業で「名もないラブ・スーリィー」というシナリオを描く。ジョーはベティをノーマの屋敷に呼び出しノーマとのことを洗いざらい話し、屋敷を出ようとするが・・・。

サイレントとトーキー、スタッフとキャスト、一握りのスターとその他大勢の無名俳優。ハリウッドの内幕を描いた、G・スワンソン渾身の熱演。

【解説】

■ポイント

●サンセット大通り

LAに実在する通りで夕陽が美しい場所として有名。夕陽は人生の終焉、落ち目を象徴

●グロリア・スワンソン (1899年~1983年)

- ・1899年、イリノイ州生まれ。サイレント映画の時代に、セシル・B・デミル監督作品のヒロインとして活躍しスターの地位を築き、最も高いギャラをとる女優として「ハリウッドの女王」と呼ばれる。「港の女」(1928年)で第1回アカデミー賞にノミネート。

- ・しかし、サイレントからトーキーへの移行に対応できず1930年代に失速。

1941年に引退するが本作で銀幕に復活、アカデミー賞主演女優賞に本命視されるが受賞に至らず。生涯オスカーには縁がなかった。

●受賞 (アカデミー賞)

11部門にノミネート、3部門で受賞 (脚本賞、作曲賞、美術監督装置賞)

●評価 (AFIアメリカ映画ベスト100) 2007年：16位

■見どころ

- 往年の大スター、スワンソンが自らを思わせる役柄で復活、狂気と妄執に捕らわれた女優を熱演。また、デミルをはじめとする、当時の監督、スターが実名で出演



燃えよドラゴン (Enter the Dragon)

観賞日 2024年6月10日 上映時間 98分

【参加者 37名】

【概要】

制作 1973年 香港、アメリカ

監督 ロバート・クロース

脚本 マイケル・オーリン、ホー・シュンリン

音楽 ラロ・シフリン

撮影 ギルバート・ハップス、チャールズ・ロウ

出演 ブルース・リー (リー)、ジョン・サクリン (ローパー)、シー・キエン (ハン)

ジム・ケリー (ウィリアムズ)、アーナ・カプリ (タニア)、ヤン・スエ (ボロ)



【あらすじ】

少林寺拳法の奥義を極めたブルース・リーは師から少林寺の掟を破り私腹を肥やす先輩門弟のハンを討つように命じられる。丁度、ハンが主催する国際武術大会の招待状を受け取ったリーは、3年前に自害に追い込まれた妹の敵討ちもあり単身、ハンがいる島に渡る。島は香港の近くにありハンが所有している。大会に招待されたのは世界各地から集められた武芸の達人たち、ローパー、ウィリアムズ……。島に到着したリーは、諜報員のメイ・リンに会い情報を得る。トーナメントでは妹の敵オハラと対戦し撃退する。宿敵ハンを倒すべく孤軍奮闘するリー。ハンが極悪非道ぶりを目の当りにしたローパーがリーに加勢する。リーとローパーはハンに部下たちを次々に打ち破り、ついにリーはハンと少林寺門弟同士の対決を行うが……。

世にカンフーブームを巻き起こし、ブルース・リーの遺作となった記念碑的な作品。

【解説】

■ポイント

●ブルース・リー (1940年～1973年)

- ・香港で育った後、渡米し中国武術の指導者を経て、アクションスターに
- ・初主演の「ドラゴン危機一発」が大ヒットし、一躍香港のトップスターになる。(1971年)
- ・本作制作後に頭痛を訴え昏睡状態に陥り 32歳で死亡

●カンフー映画

- ・中国拳法、カンフーを主体としたアクション映画
- ・ブルース・リーによって開拓され、その後ジャッキー・チェン、ジェット・リーなどがスターに

■見どころ

●ブルース・リーのカンフー・アクション

全編がアクションの連続。極めつけのヌンチャク技。ラストの鏡の部屋での格闘シーン。銃を持たないヒーロー。

●ストイックな007

敵役がいる島に潜入し、自分の頭脳と腕で敵を倒し任務を遂行するというプロットはジェームズ・ボンドと類似。しかし、ストイック。

●テーマ曲

「スパイ大作戦」の作曲者ラロ・シフリンによるテーマ曲は印象に残るオリエンタルなメロディー

見知らぬ乗客 (Strangers on a Train)

観賞日 2024年6月24日 上映時間 101分

【参加者 51名】

【概要】

制作 1951年 アメリカ

監督 アルフレッド・ヒッチコック

脚本 レイモンド・チャンドラー、チェンツイ・オルモンド

原作 パトリシア・ハイスミス『見知らぬ乗客』

音楽 ディミトリ・ティオムキン

撮影 ロバート・バークス

出演 ファーリー・グレンジャー (ガイ・ヘインズ)

ロバート・ウォーカー (ブルーノ・アンソニー) ルース・ローマン (アン・モートン)

レオ・G・キャロル (モートン上院議員)、ケイシー・ロジャース (ミリアム)



【あらすじ】

ニューヨーク行の特急列車。テニスプレイヤーのガイ・ヘインズは故郷のメトカーフに向かう。すると見知らぬ乗客ブルーノ・アンソニーから話しかけられる。奇妙なことに、ブルーノはガイが秘かに考えていたことを知っていた。妻のミリアムが浮気をしていて離婚話が持ち上がっていること、そしてその後、ガイ自身は上院議員の娘アンとの結婚が予定されていることなど。そこで、ブルーノは突然ある提案をしてきた。ガイにとって邪魔なミリアムとブルーノにとって目障りなブルーノの父親の交換殺人である。ガイはその提案を一笑に付した。ところが、ブルーノは提案通り勝手に遊園地でミリアムを殺害し、ガイに約束の交換殺人を執拗に迫ってきた。ガイは仕方なくアンにブルーノとのいきさつを話す。ブルーノはガイを脅迫、なおも殺人の履行を迫る。追い詰められたガイはあの遊園地でブルーノと対決することに・・・。

ある日、突然事件に巻き込まれる恐怖。パトリシア・ハイスミスのデビュー小説の映画化。

【解説】

■ポイント

●巻き込まれ型サスペンス

ヒッチコックが得意とするもので、善良でごく普通の主人公がふとしたことから事件に巻き込まれ、追い詰められていく恐怖を描いたもの。

代表作：「北北西に進路を取れ」「知りすぎた男」など

●受賞 (1952年第24回アカデミー賞)

撮影賞 (白黒部門) ノミネート

■見どころ

●恐怖感を増幅するモノクロフィルムの演出

●うまい小道具の使い方

ライター、眼鏡、ネクタイ・・・

●ヒッチコックお決まりのカメオ出演シーン

映画前半、駅から楽器を抱えて列車に乗りこむ太った男

「浮雲俳句会」

抄録 NO.65

代表 小俣 悦男

太田代表が3年間主宰を置かない体制に挑戦し順調に活動を続けてこられたが3月末に退任された。今年度も引き続き、会員全員による合評を柱とした句会の運営を継続することで全体のレベルアップに繋げることを目指します。とはいえ、3月末の会員数13名は過去最低ライン。よって、機会あるごとに新しい会員を募るべく努めたい。新入会員へは太田前代表が提唱し全員の賛同を得ているフォローアップの仕組み(ブラザー&シスター制度)で対応していく。

182回句会 令和6年4月28日

会員選の特選句と自評

山々の樹冠に淡き花の雲

和女

山の深緑の中、いつの間にか桜色が広がり、こんなにたくさんの桜の木があったのかと驚きます。4月中旬信州を訪れました。山にも里にも桜、桜、、、。花が満ち、山の樹々を包んでいます。まるで、ふわりと山々にかかる雲のような光景に感動しました。

鳴き砂を踏む音軽き春の海

和女

以前、北陸を旅行した時のこと。砂浜を歩いてみると、足元が“キュツ キュツ”と音を立てます。楽しくて、何度も足踏みをしてしまいました。“鳴き砂”を実感した時でした。

鶯や野島一島ふるはせて

とも女

四月半ばだが、夏日のような日曜日だった。わたしは、ぶらりと野島へ出かけた。野島の海岸は、隅から隅まで、浅蜷取りの人で埋め尽くされていた。海岸を、暫く歩き、ベンチで一休みした。海岸を見渡すと、カラフルな小さなテントが、びっしりと置いてあり、より賑やかな風景を醸し出していた。ふと、頭上から鶯の高く透き通った鳴き声がした。癒されて、暫くじっと動かなかった。夢中で浅蜷を取っている人たちにも聞こえたことだろう。鶯も大勢の客を見下ろし張り切って鳴いていたことだろう。鶯の美声を後にして野島を去った。

永き日や三分間の砂時計

二祥

当日の兼題は「砂」でした。何処かの土産で買った玄関にある「砂時計」を手を取った。折しも短日の冬を終え、随分日が永くなってきた春半ばですが、砂時計は季節拘らず、三分間だ。当たり前の事ですが、妙に感動した。そこで、季語「永き日」と「砂時計」の取り合わせの句として詠んでみた。

野島浦浮世絵のごと浅蜷舟

重九

金沢の海岸は江戸末期の浮世絵師広重によって「金沢八景」の一つとして描かれ、景勝地として有名でした。また、浅蜷は近隣の貝塚から分かるように弥生時代から採取されていた豊かな海岸で、埋め立てにより人工の海の公園に代わりましたが、ゴールデンウィーク中は潮干狩りで大賑わいです。野島浦では地元の漁師が今もなお舟を出し、浅蜷を採取している光景が見られます。

大和から令和咲きつぐ根尾桜

重九

日本三大桜は根尾谷薄墨桜(岐阜県)、三春滝桜(福島県)、山高神大桜(山梨県)ですが、根尾桜は樹齢 1500 年以上と言われており、大和時代中頃(継体天皇御手植櫻の伝説あり)から令和の現在までよくぞ咲き継がれ、優美な姿を見せてくれています。岐阜とは縁もあり何度も訪れていますが、中島千波画の「樹霊薄墨桜」の石版画も大事にしています。

183回句会 令和6年5月26日

会員選の特選句と自評

濃き海霧に引きこまれゆく小舟かな 重九

9年前の5月、薬害とそれに伴う免疫不全のため、大学病院救急センターに送り込まれたときは重篤と告げられ、40日間の入院を余儀なくされた。海の見える病室のある朝、濃い海霧に漁の小舟が吸い込まれていくのを眺めながら、死に向かって突き進んでいく自分を重ね合わせていた。幸いに掛り付け医の的確な判断と病院医師団の治療のお陰で、主治医から「良く生き返えられましたね。頑張りましたね。」の言葉と共に退院できました。感謝！です。

罅割れの能登千枚田代掻きて 祥代

一月一日、大変なことが起こりました。能登半島の大地震です。びっくりすると共にとっても心痛むことでした。報道を見ているとどうなることかと心配でした。そんな中、素晴らしい能登千枚田で罅割れを避けて代掻きをするというニュースに出会い、皆さん頑張っているんだなと思いました。ちょっと朗報です。素晴らしい！！そこでこの句を詠んでみました。

一望の代田に一羽鷺の舞ふ あきえ

東武日光線スペーシアXの車窓からの景です。丁度田植え前で、水を湛えた水田が目届く限り一面に拡がり陽光に映えていました。その時、一羽の白い鷺が舞い降り水田の中で足踏みをしながらくっきりと見回し、まるでこの田は自分が守るんだと胸を張っているように見えました。

老鶯や溪流釣りの生き字引

えいこ

こんなことがあった。宮川(金沢区内)沿いを散歩しているとき、じっと向こう岸を見つめている人がいた。何かいますかと訊くと海水魚が潜んでいると。続けて魚の貴重な話など面白く伺った。無知なる者には見えないものが知識ある者には見えるのだと感心したのだった。秩父の山間の川で一人の釣り人に出会った。落ち着いた所作に、この川を、溪流釣りを知り尽くした人なのだろうと思ったのでした。

無住寺の闇十葉のほの明かり

十九

無住寺の闇は淋しさひとしおなものがある。私はしかしその無住寺に、以前から妙に惹かれるものを感じていた。それは或いは、あちらの世界に行った時の、孤独感みたいなものかも知れない。十葉は、いくつもの白く小さな十字の花びらを、その闇の中に灯している。ほんのりとした優しさを、慎ましやかに揺らしながら。

184回句会 令和6年6月23日

会員選の特選句と自評

校庭へ弾き出る子ら梅雨晴間

とも女

6月の今、梅雨真っ最中です。ふと、小学校での教員生活を思い出しました。2時間目の授業が終わると、20分間の中休みがあり、子供たちは、思いきり遊ぶことができるので、楽しみにしています。ところが、梅雨の季節は、雨が連日続くこともあり、中休みは、教室の中で体を持て余しています。エネルギーを発散できず、けんかも多く、いらいらしています。それが、梅雨の晴れ間になると、中休みを待ち構えたように、校庭へ飛び出していきます。チャイムが鳴ると、汗びっしょりになって入ってきます。満足気です。きっと、昔も今も同じ風景でしょう。

峡の宿闇にしみいる河鹿かな

二祥

この五月、山深い熊本・黒川温泉のせせらぎの宿での感動の一コマをテーマに作句した。夜の帳に包まれ中、断続的にシヒュー、シヒュー、シヒューンと何とも幽玄的な美しい音が聞こえてきた。宿の方に聞いたら、川上の河鹿蛙の鳴き声だと、まさに闇にしみ、とけゆく笛の音色のようだ。外湯めぐりも忘れ、聞き入った。これが河鹿笛かと……。心の澄む記憶に残る夜だった。中七下五は「闇にとけゆく河鹿笛」の方が良かったかも知れない。

紫陽花の寺の手水に浮くいのち

和女

紫陽花は、庭に、道端に、公園に、寺社の境内に…、この季節を彩る花です。時には寺社の手水鉢にも浮かべられ、“花手水”といわれているようです。水の上で再び花の命を輝かせるひとときです。

行人の素足りくぞく足湯かな

重九

出雲地方に家族旅行をしたときの体験ですが、季節は少しずらしています。旅の疲れを癒してもらおうとの配慮でしょうが、旅行案内所の敷地内に足湯が設けてあり、行人(旅人)は靴と靴下を脱いで素足を湯に浸けます。その時の爽快さに疲れが一気に吹き飛びます。また、同じ旅の途中の人たちが陸續と入ってきます。そこから又話が弾み、旅の楽しさを膨らませてくれます。旅は楽しい！

大瀑布連写の音を押し潰す

一柧

日光の湯滝は華厳の滝、竜頭ノ滝と並んで奥日光三名瀑の一つ。湯ノ湖の南岸から斜面を流れ落ちる湯滝は観瀑台があり猛々しい迫力ある姿をごく真近で見ることが出来る。その状況のワンシーンを切り取って詠んだ。

白百合や背筋きりりと蕾解く

和女

庭の白百合、その中で鉄砲百合は特別です。今年も背丈1メートル以上の太い茎の上に数個の蕾をつけていました。背をきりりと伸ばして立つ姿は、美しさと力強さを兼ね備えています。数本の茎が一斉に蕾を開くと見事です。

植田吹く風少年の淡き恋

重九

俳句には「一物仕立て」と「取り合わせ」の2種類があり、「取り合わせ」の句の中にも因果関係のない衝撃的な取り合わせの句(二物衝撃という)があるが、これに初挑戦してみました。句友から一定の評価が得られてうれしく思っております。田舎の田植えをしたばかりの満面の水に頭を出した稲の葉を揺らしながら吹き抜けていくすがすがしい風、即ち「植田吹く風」と、少年時代の告白もデートもしなかったが、好きだという淡い恋心を胸にいただいていた頃の懐かしく、且つすがすがしい思い出の「少年の淡き恋」を詠んでみましたが、「懐かしい思い出→すがすがしさ」が響き合って相乗効果を出しているのでしょうか。

好日やいつもどほりの冷奴

祥代

何事もなく、いつもどおりの一日を過ごすことができたことに、感謝の意を込めて詠んでみました。日々是好日です。

パソコンを使いこなす会 実施報告【17】

2024年4月～6月

2024年度 第1回分科会

- 日時：2024年4月2日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：画像処理講座 -Picasa -
 - 1.PICASA3 アプリのインストール
 - 2.画像材料の保存
 - 3.画像の読み込み
 - 4.画像の補正
 - 5.作品の保存
 - 6.コラージュ作成

《参考資料》 以前のコラージュ作成テキスト
《付録》 iPhone の画像の変換
- 参加者：16名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2024年4月2日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2024年度 第2回分科会

- 日時：4月16日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：WORD 講座 - スマートアート① -
 1. デザインの配色設定
 2. タイトルの書式設定
 3. サブタイトルの書式設定
 4. 「中央揃え」に設定
 5. スマートアート（A）の作成
 6. テキストの作成
- 参加者：15名 + Z2名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2024年4月16日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2024年度 第3回分科会

- 日時：5月7日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：EXCEL 講座 —初めてのEXCEL—

1.基本操作 はじめの一步

- ① 基本操作1
- ② 基本操作2

2.初めてのEXCEL

- ① ステップ1 起動・終了
- ② ステップ2 文字・数式入力
- ③ ステップ3 データ入力
- ④ ステップ4 セル・行・列操作
- ⑤ ステップ5 ワークシート活用

- 参加者：13名 + Z2名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2024年5月7日_テキスト



このQRコードをスマホのアプリで読み込みと、テキストを見る事が出来ます。

2024年度 第4回分科会

- 日時：5月21日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：WORD 講座 —スマートアート②—
 7. スマートアート（B）の作成
 8. 二つのスマートアート左右中央揃え
- 参加者：14名 + Z2名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2024年5月21日_テキスト



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2024年度 第5回分科会

- 日時：6月4日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：Internet 講座 —Google Map—
 1. 検索
 2. 経路検索

- 3. ナビゲーション
- 4. 周辺スポット検索
- 5. 表示方法の変更
- 6. ストリートビュー
- 7. オフラインマップ
- 8. マイプレイス登録
- 9. スマートフォンと同期
- 10. インドアマップ

- 参加者：15名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2024年6月4日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2024 年度 第 6 回分科会

- 日時：6月18日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：WORD 講座 一書式設定一
 1. フォント・文字サイズを変更する
 2. 文字効果を付ける
 3. 文字を太字にする
 4. 文字の色を変更する
 5. 文字揃えを変更する
 6. 文字の網掛け
 7. 文字を斜体、下線
 8. 蛍光ペンで色を付ける
 9. 行間隔の設定
 10. インデントの設定
 11. 箇条書きの設定
 12. 段落番号の設定

- 参加者：15名 + Z2名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2024年6月18日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

行事予定

2024年9月～2024年11月の予定

注：表中の「CC」は「地区センター」の略

	9月	10月	11月
学習会	9月8日(日) 金沢CC 13:30～16:30 【都市的な場と有徳人たち】 青山学院大学文学部史学科 准教授 谷口 雄太氏	10月11日(金) 横須賀浦賀地区 9:30～14:00 【探訪】 浦賀レンガドックと浦賀散策	11月9日(土) 能見台CC 9:30～12:1230 【西行法師の「西国」修行】 鶴見大学、大妻女子大学他、 非常勤講師 石澤 一志氏
寺社を巡る会	9月5日(木) 10:00 集合場所：京急立会川駅 テーマ：品川歴史館を見学 訪問先：品川区立歴史館 学芸員による解説	10月3日(木) 10:00 集合場所：JR北鎌倉駅東口 テーマ：円覚寺・東慶寺を巡る 訪問先：北鎌倉駅東口・円覚寺側～円 覚寺(山門、仏殿、選仏場、 方丈庭園、黄梅院、松嶺院) ～東慶寺～北鎌倉駅(解散)	11月7日(木) 10:00 集合場所：京急馬堀海岸駅 テーマ：古事記に見る弟橘媛を 尋ねて 訪問先：京急馬堀海岸駅～馬頭観音 堂～浄林寺～うみかぜの路～走水水 源公園～御所ヶ崎～覚栄寺～円照寺 ～大泉寺～走水神社(解散)～(バス) ～馬堀海岸駅 or 横須賀中央駅
古文書を読む会	9月12日(木) 10時～12時 場 所：金沢公会堂第2会議室 テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記	10月10日(木) 10時～12時 場 所：金沢公会堂第2会議室 テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記	11月14日(木) 10時～12時 場 所：未定 テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記
ふれあいの道歩こう会	9月19日(木) 予備日 20日(金) 十国峠～岩戸山～伊豆山神社 静岡県 函南町、熱海市	10月17日(木) 予備日 18日(金) 西沢溪谷探勝コース 山梨県 山梨市	11月21日(木) 予備日 22日(金) 足柄峠と夕日の滝 神奈川県 南足柄市 静岡県 小山町
懐かしの映画を観る会	9月9日(月) 市大ビデオホール 10:00～ 20周年記念講演会 12:30～ 同上祝賀会 9月23日(月) 金沢CC 12:15～ スターウォーズ	10月14日(月) 金沢CC 12:15～ 犬神家の一族 10月28日(月) 金沢CC 12:15～ 男と女	11月11日(月) 金沢CC 12:15～ タンポポ 11月25日(月) 金沢CC 12:15～ ロッキー
浮雲俳句会	9月22日(日) 10:00～ 第187回句会 会場：晴嵐かなざわ 課題：当季雑詠3句、兼題1句	10月27日(日) 10:00～ 第188回句会(吟行) 会場：富岡並木地区センター 課題：当季雑詠2句	11月24日(日) 10:00～ 第189回句会 会場：晴嵐かなざわ 課題：当季雑詠3句、兼題1句
パソコンを使いこなす会	9月3日(火) 八景コミハ WORD 講座 ーレイアウトー 9月17日(火) 八景コミハ WORD 講座 ー一段組みー	10月8日(火) 八景コミハ EXCEL 講座 ー住所録(初心者向)ー 10月15日(火) 八景コミハ Windows 講座 ーパソコンの高速化ー	11月5日(火) 八景コミハ EXCEL 講座 ー万年カレンダーー 11月19日(火) 八景コミハ Windows 講座 ースマホの写真をパソコンへー
	9:30～12:00	9:30～12:00	9:30～12:00

連絡先

- ・学習会 785-6151(鶴岡) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・浮雲俳句会 782-8147(小俣)
- ・ふれあいの道歩こう会 080-6755-1473(江口) ・懐かしの映画を観る会 785-6151(鶴岡)
- ・寺社を巡る会 090-1840-0916(横山) ・パソコンを使いこなす会 090-3964-3624(高橋)

編集後記 誕生月の7月に運転免許証更新の案内と共に「高齢者講習」受講の案内が届いた。運転は殆ど委任せで、返納してもあまり困る事はないと思ったが、なんとなく淋しさもあり「高齢者講習」を受け更新の手続きを済ませた。次回更新時には「認知機能検査」を受検する必要かあるという。昨今テレビでのニュースや情報番組で交通違反や交通事故の報道が頻繁にある。特に高齢者による事故で、アクセルとブレーキを踏み間違え暴走した、道路を逆走運転したなどで、如何にも高齢者の運転が悪しき事のように受け取れる報道もある。当会の皆様は運転免許証はどうされていますか。私は、次回更新までには自主返納したいと考えています。 【中村 猛次記】	発行日	2024年8月16日
	発行月	年4回発行(2、5、8、11月)
	発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
	編集長	星野 六夫
	編集委員	中村 猛次 福嶋 恵美 吉武 惇二 浜辺 隆文 熊谷 信雄 橋 博章